

令和6年度 「志教育」 全体計画

宮城県貞山高等学校

校 訓
自立・友愛・創造

本校の教育目標
自主・自立の精神を尊び、自由と責任を重んじ、創造性豊かな人間の育成を図り、社会の向上・発展に寄与できる人間を育てる。

生徒の実態、教師の願い
●入学の目的や学習習慣、生活習慣、家庭環境は多様である。 ●素直で、指示された学習や活動には熱心に取り組む生徒が多い。 ●自分から学習しようとする意欲を持ち、大人として自立し社会に役立つ人間に育ってほしい。

保護者や地域の願い
●毎日通学し、楽しく充実した学校生活を送り、自分の目指す就職や進学等、卒業後の進路を決めてほしい。 ●多様なニーズに対応できる単位制高校として、地域と連携した教育を実践してほしい。

「志教育」の目標
1 豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、社会人として必要な資質を養う。 2 社会において果たさなければならない使命を自覚させ、個性に応じて将来の進路を決定させる。 3 社会についての理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養う。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
●自己肯定感を高め、他人への思いやりの心を育てる。 ●自分の考えを伝えたり、他人の考えを理解したりすることができる人間関係力を身に付けさせる。	●よりよい生き方を求め、その基礎となる学習に創造性を育みながら取り組ませる。 ●自分の適性を理解し、将来の職業希望を実現するための道筋を自主的・主体的に探求させる。	●一社会人として自立し、社会での役割を果たすことの大切さを自覚させる。 ●学校での諸活動、生徒自治会や奉仕活動、職業体験等を通して自己有用感と取組意欲を高める。

各教育活動における取組の観点	
各教科	●基礎的・基本的な知識、技能の定着を図り、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力を育む。 ●主体的に学習に取り組む態度及び、身に付けた力を実社会で積極的に生かそうとする態度を養う。
道徳	●社会のルールやマナーを理解し、責任を持って行動できる生徒を育てる。 ●夢や希望を持ち続け、その実現に向け、粘り強く努力する生徒を育てる。 ●社会の向上・発展に貢献する生徒を育てる。
総合的な探究	●課題に関わる概念的な知識を理解し、課題の発見と解決に必要な技能を身に付け、探究の意義や価値を理解する力を養う。 ●実社会と自己の関わりから見いだした課題について、情報を収集するとともに、整理・分析し、自らの考えをまとめ、適切に表現する力を養う。 ●主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
特別活動	●多様な他者と協働する上で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付けさせる。 ●集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ●主体的に集団に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
その他	●部活動を通して、学習意欲の向上や責任感、連帯感を養い、互いに協力し合う好ましい人間関係を形成し、人格の完成を目指す。 ●勤労及び職業に対する知識と経験を深めさせ、主体的に進路を選択・決定する力を養う。

各年次の取組内容	
1年次	① 人間関係スキルアップ学習 ② 基礎基本的な知識・技能の定着 ③ 主体的・意欲的な学習への取組 ④ 生徒自治会・各種委員会 ⑤ 生活体験発表 ⑥ 貞山高祭 ⑦ 部活動・定通大会 ⑧ 進路学習（職業理解・適性理解） ⑨ 地域美化活動（ボランティア活動） ⑩ 就労指導
2年次	① 基礎基本的な知識・技能の定着 ② 主体的・意欲的な学習への取組 ③ 生徒自治会・各種委員会 ④ 生活体験発表 ⑤ 貞山高祭 ⑥ 部活動・定通大会 ⑦ 進路学習（職業理解・適性理解） ⑧ 進路ガイダンス ⑨ 地域美化活動（ボランティア活動） ⑩ 就労指導
3年次	① 主体的・意欲的な学習への取組 ② 生徒自治会・各種委員会 ③ 生活体験発表 ④ 貞山高祭 ⑤ 部活動・定通大会 ⑥ 進路ガイダンス ⑦ 就職指導（全体）・進学指導（個別） ⑧ 労働法講座・租税教室・金銭教育セミナー ⑨ 着こなしマナー講座 ⑩ 地域美化活動（ボランティア活動）
4年次	① 主体的・意欲的な学習への取組 ② 生徒自治会・各種委員会 ③ 生活体験発表 ④ 貞山高祭 ⑤ 部活動・定通大会 ⑥ 進路ガイダンス ⑦ 就職指導（全体）・進学指導（個別） ⑧ 労働法講座・租税教室・金銭教育セミナー ⑨ 着こなしマナー講座 ⑩ 地域美化活動（ボランティア活動）

家庭との連携
経済的な問題や複雑な家庭環境に配慮しながら、生徒の卒業と進路実現に向けて連携する。

地域・企業との協働
●本校で科目履修生として授業に出席している社会人との交流や出前講座等の活用を図る。 ●地域の学校、NPO団体、企業等との連携を深める。